

**具体的な施策・重要業績評価  
指標（KPI）進捗状況評価票  
【対象：平成30年度】  
（審議用）**

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成 30 年度)

基本目標	1	市内産業の振興と起業・創業の推進による雇用の確保
基本的方向	1	市内産業の経営安定化による雇用機会の維持(経営基盤の強化)
具体的な施策	②	多様な人材の就労支援
主担当課	住宅勤労課、地域コミュニティ課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就労意欲のある方が積極的に地域で活躍できるよう、若い世代の就業機会の拡大、働く意欲のある高齢者の就業機会の提供などを支援します。</li> <li>・ 講座を開催するなど、出産や介護などの理由により離職した女性の再就職を支援するとともに、市内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進に向けた取組についての啓発を進めます。</li> </ul>	

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① いきいきワーク府中の就職率	%	36.8					
		32.1	27.2	26.4	24.8	24.2	—
		/	C	C	C	C	
② 女性向け再就職支援の講座数	講座	現状値以上					
		5	5	5	4	3	—
		/	A	A	A	B	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>①高年齢者の職業紹介事業は自所求人開拓を積極的に取り組み、就職者数 221 人、来所者数 2,086 人、自所開拓求人数 2,343 人と都内でもトップレベルの実績をあげている。定年の引上げ等により高年齢者の就労機会がさらに厳しさを増している状況の中、親切丁寧な対応を行い再就職につなげた結果、就職者数は年間 220 人前後を堅持している。求職登録者数は増え続けており、評価指標として就職率は低下する結果となった。市とセブーン・イレブンの地域活性化包括協定に基づく「シニア向けお仕事説明会」の開催、多摩地域にあるアクティブシニア就業支援センターと連携した就職面接会の開催、並びにハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センターとの共催による就職支援セミナーや合同就職面接会の開催により、高年齢者の就労相談や就労機会を提供した。</p>
B	<p>②商工会議所、東京しごとセンター、東京しごとセンター多摩と連携し、再就職支援講座を 3 講座（延 18 回）実施し、出産や介護等の理由により離職した女性の再就職を支援した。なお、受講者 132 人のうち、就職につながった人数は 14 人であり、昨年度が受講者 113 人のうち就職につながった人数が 24 人であることから、就職率を高めていく必要がある。</p>
【令和元年度における取組など】	
<p>①ハローワークの求人情報に加えて、勤労者福祉振興公社が独自に集めた求人情報を提供して実施する概ね 55 歳からの無料職業紹介事業「いきいきワーク府中」に対して引き続き支援していく。求人数及び就職者のニーズに対応するため、ハローワーク府中、東京しごとセンター、東京都労働相談情報センター等と連携を図り、再就職支援講座や就職面接会を行い、高年齢者の再就職を支援していく。</p> <p>②引き続き、東京しごとセンター、東京しごとセンター多摩と連携した講座を開催するほか、主催講座を開催するなど、出産・育児・介護などの理由により離職した女性の再就職を支援していく。</p>	

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>①の実績については、平成30年度の目標達成率が▲12.6ポイントであり、評価の面では厳しい状況である。また、平成27年以降、達成率が毎年低下しており、今後の対策の必要性が求められる状況である。担当課の分析によると、就職数は横ばいで推移しており、原因は利用者数の増加にあるとのことであるが、求人開拓数が増えている状況の中、就職率が減少しているのは、求人と求める職種とのミスマッチが発生している状況が考えられ、利用者が求める職種の開拓に力を入れるなどの対策とハローワーク等との連携強化による就職率の向上が求められる。</p> <p>②女性向け再就職支援の講座については、昨年度は4講座で延べ20回開催しているが、今年度は3講座延べ18回の開催にとどまっている。但し、受講人数については昨年度が113名のところ、今年度は132名となり、事業としては概ね順調に推移していると認められる。今後、さらに利用者のニーズに合った講座となるよう、また、就職に結びつく内容となるような講座の運営として欲しい。</p>
B	

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成30年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成
基本的方向	1	府中の魅力を活かしたにぎわいの創出
具体的な施策	②	地域の連携によるにぎわいの創出
主担当課	経済観光課、政策課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中駅周辺のエリアマネジメントを推進し、にぎわいを創出することで、中心市街地の活性化を図ります。</li> <li>・ラグビーワールドカップ日本大会及び東京オリンピック・パラリンピックの開催を機に、日本全国に、そして海外に府中市の魅力を発信するとともに、地域が一体となって国内及び海外からの訪問者の受入環境の充実・強化を進めます。</li> </ul>	

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 休日のけやき並木通りの歩行者交通量	人	現状値以上					
		19,378	19,378	15,586	25,500	26,232	—
		※平成27年度の実績	—	C	A	A	

- ※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>○平成29年度より、一般社団法人まちづくり府中がコーディネートしている府中駅南口にある大規模商業施設の合同セール「キテキテ府中」及び同セール期間中に開催される「FUCHU WORLD FESTIVAL」などの実施により、地域ににぎわいがもたらされた。なお、キテキテ府中については、平成30年度より、「ぷらりと京王府中」も参画し、地域におけるさらなる連携が図られるとともに、本イベントの認知度も高まっている。また、平成30年度に初めて実施した「むさし府中まちゼミ」も参加者より大変好評であった。</p> <p>○市から同法人への委託事業として、東京競馬場来場者を中心市街地に呼び込むためのタイアップ事業や中心市街地への来訪者をもてなすための竹あかりライトアップ事業、キテキテ府中マルシェなどを実施し、にぎわいの創出に寄与した。</p> <p>○さらに、ラグビーワールドカップ2019開催に向けた機運の醸成を図るべく、「カウントダウンモニュメント」を設置し、お披露目を兼ねたイベントを催した。同日には、「武蔵府中ワンハンドフードレシピコンテスト」と題して、ラグビーワールドカップ2019や、東京2020オリンピック・パラリンピックといった大規模イベントの開催に向け、片手で持つことができ、街歩きやイベント会場などでも食べやすい、本市ならではの「ワンハンドフード」のレシピの選定に係る試食会及び表彰式を執り行ったほか、2つの地元商店会が連携したイベントも開催され、大きなにぎわいを見せた。</p> <p>&lt;KPI①の調査条件について&gt;</p> <p>○測定日時：平成30年10月14日（日）7時から19時（合計12時間）</p> <p>○場所：けやき並木通り（ル・シーニュ前） 天候：くもり</p> <p>○府中駅乗降客数：90,224人／日（平成29年度）→90,316人／日（平成30年度）</p>
A	
【令和元年度における取組など】	
<p>○一般社団法人まちづくり府中がコーディネートする大規模商業施設間の連絡会議は継続して実施するものとし、本年9月末をもって伊勢丹府中店が閉店することによる影響を最小限にとどめられるよう、これまで以上に関係団体との連携を深めていく。</p> <p>○また、本年9月20日より、ラグビーワールドカップ2019が開催されることを受け、本市をキャンプ地とするイングランド及びフランスにちなんだイベントの実施や、昨年度末に選定された「武蔵府中ワンハンドフードレシピ」の認知度向上や個店等への広がりを目指し、市の魅力向上や発信に努め、にぎわいの創出を図る。</p>	

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>賑わい創出に向けた各種取組がなされたことは評価できる。また、K P I も 2 9 年 度同様高い数値を維持したことは評価できる。</p> <p>なお、本年 9 月末日をもって府中駅周辺の核となる店舗であった伊勢丹府中店が撤退 とのことであるが、その影響が少なくなるよう地域が連携した取組みを実施してほしい。 また、いよいよ本年はラグビーワールドカップの開催年であり、来年はオリンピック・ パラリンピックの開催年であることから、地域が連携し訪問者の増加に向けた取組み を実施してもらいたい。</p>
A	<p>※ 基本目標の施策概要に、ラグビーワールドカップやオリンピックに向けて府中市 の魅力発信、受入環境の充実・強化を進めるとあるが、昨年度の担当課評価に魅 力発信の取組の記載がないので、記載をお願いしたい。</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成30年度)

基本目標	2	定住促進に向けたにぎわいの創出とふるさと意識の醸成		
基本的方向	2	郷土への愛着を感じるふるさと意識の醸成		
具体的な施策	①	歴史や文化、スポーツに触れる機会の充実		
主担当課	文化生涯学習課、スポーツ振興課		関連課	ふるさと文化財課、美術館
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市の伝統芸能や芸術文化を継承していくとともに、文化施設や歴史・文化遺産を活用して、郷土愛を持てるまちを目指します。</li> <li>・スポーツタウン府中の発展に向け、各種競技団体、市内の大学や市内を活動拠点とするトップチームなどとの連携を深め、府中市ならではの事業を展開します。</li> </ul>			

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 郷土の森博物館及び美術館の入場者数	人	533,000					
		489,602	498,579	569,685	530,738	419,188	—
		/	A	A	A	B	
② 大学やトップチームと連携する事業数	事業	3					
		2	2	3	4	5	—
		/	A	A	A	A	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。



## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評 価	<p>① 郷土の森博物館では、天候不良による影響などにより、年間の利用者数は前年度を超えることができなかったが、リニューアルオープンしたプラネタリウムを活用するとともに、特別展・企画展・あじさいまつり・梅まつりの他、講座、体験学習・調査研究事業等の博物館事業が多彩に着実に行われ、市民の知的レクリエーションの場としてふさわしい事業の展開に努めた。</p> <p>市史編さん事業では、東京外国語大学と連携して近世古文書の調査と近代行政文書の調査を進めた。また東京農工大学と連携し、自然専門分野の調査を実施した。6分野からなる専門部会の活動による資料収集、調査、研究を進め、市史編さんの成果をまとめた刊行物として、研究紀要1冊と資料編3冊を発行した。</p> <p>市指定の無形民俗文化財である府中囃子の演奏技術の伝承に年間を通して支援した。武蔵国府太鼓は、市民を対象とした講習会を継続して実施するとともに、武蔵国府太鼓の演奏を収録したDVDを作成し、伝統芸能の普及に努めた。</p> <p>② 総合体育館では、本市ならではの事業として、トップチームよるフットサル教室及びチアダンス教室等を実施し、参加者からこれを機会に競技を始めたいとの多数の声がかかり好評を得た。また、トップチームと連携したボールふれあいフェスタ、トップチームや市内の大学と連携したみんなのスポーツdayを本市ならではの事業として展開し、スポーツタウン府中の発展に寄与した。</p>
A	
【令和元年度における取組など】	
	<p>① 郷土の森博物館では、リニューアル1周年を迎えるプラネタリウムの投映内容をさらに充実させ、展示会では、令和改元にちなんだ「中世東国と改元」展、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴うミニ展「1964オリンピックと府中」などを実施する。</p> <p>また、「あじさいまつり」と「梅まつり」については、植栽を充実させ市制施行65周年記念として開催し、利用者の増加を図る。</p> <p>市史編さん事業では、東京外国語大学、東京農工大学などの大学と連携して調査研究を実施するとともに、専門部会所属の専門家や研究者と連携して資料収集、調査、研究を継続して進める。また市史編さんの成果をまとめた刊行物として、研究紀要、資料編、付属刊行物などを発行し、その配布と頒布を行う。</p> <p>ラグビーワールドカップ2019開催時、本市を来訪する外国人を伝統文化でおもてなしをするため、府中囃子、武蔵国府太鼓演奏披露と芸術文化協会加盟団体による日本文化の紹介及び体験を行う。また、府中囃子及び武蔵国府太鼓の伝承普及や後継者の育成に継続して取り組む。</p> <p>② KPI②「大学やトップチームと連携する事業数」では平成30年度においても前年度以上の数値を達成できた。今後は事業を継続するとともに、参加者満足度の向上のため事業内容を工夫することにより、更なる充実を目指していく。</p>

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評価	①郷土の森博物館の入場者数は、前年度に比べ大きく減少し、目標値に達することができなかった。天候不良による影響の他に、入場者数が減少した要因がないか解明に努めてほしい。今後、リニューアルしたプラネタリウムをより一層アピールすることや、活用していくことに期待したい。
B	②大学やトップチームと連携する事業数において、目標値を達成し、また、前年度と比較しても増加している点で評価できる。今後も事業の継続と、新たな事業の展開に期待したい。また、参加者満足度の向上のために、参加者のニーズの把握にも努めてほしい。

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

**具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票**  
(対象:平成30年度)

基本目標	3	若い世代の出産・子育てへの希望の実現
基本的方向	1	若い世代が安心して出産や子育てができるまちづくり
具体的な施策	②	安心して子育てができる環境の整備
主担当課	子育て応援課、保育支援課、子ども家庭支援課	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な時期に乳幼児の各種健診や訪問を行い、発育と発達の状況把握や疾病の早期発見に努めることにより、医療などと連携したきめ細かい保健指導を行います。また、各種予防接種を実施し、子どもの健康を守ります。</li> <li>・待機児童の解消に向け、既存施設の有効活用などのソフト面の手法と施設の整備などによるハード面の手法を併用することにより、保育サービス量の拡充に取り組むとともに、保育の質の向上を目指します。また、地域の様々な人材や団体、施設などの社会資源との連携や協働を図り、地域全体で子ども・子育てを支える環境づくりを進めます。</li> <li>・子ども医療費助成など、経済的な支援を行います。</li> </ul>	

**1 重要業績評価指標 (KPI)**

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 新生児訪問実施率	%	97.0					
		86.9	86.1	80.7	88.8	82.3	—
		/	B	C	B	C	
② 特定教育・保育施設の数	箇所	54					
		47	50	52	54	57	—
		/	A	A	A	A	
③ 安心して出産し、子育てできると感じている市民の割合	%	50					
		48.5	50.3	49.6	49.7	50.3	—
		/	A	B	B	A	

※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評価	<p>①新生児訪問では発育状況の確認や子育て相談や情報提供を行い、母子の健康増進と子育て不安の解消に寄与した。新生児訪問を希望する方全員に訪問を実施することができた。</p> <p>また、里帰り先で訪問を希望する家庭には里帰り先の自治体に訪問依頼をし対応した。（都外医療機関（助産院含む）妊婦健診者数平成29年度357件、平成30年度334件）。新生児訪問を未利用の家庭には、3～4か月児健診等で状況確認を行った。乳児（3、4か月児）健康診査1,988人（98.8%）○1歳6か月児健康診査2,149人（受診率98.1%）○3歳児健康診査2,255人（受診率96.7%）定期予防接種では里帰り先で接種した費用の償還払いを実施し、接種の機会を拡大した。予防接種ナビちっくんの登録者数は平成30年度末10,160人と増加し平均予防接種率は96.5%で健診とともに高水準を維持し子供の健康維持の役割を果たした。</p> <p>②認可保育所（私立保育園）の整備事業候補者を公募し、選定した事業者候補に対する施設整備に対して開設準備支援を実施し、平成31年4月1日付けで認可保育所を3施設開設したほか、私立幼稚園において新たに2園の幼稚園型一時預かり事業を開始するなど、多様な保育サービスの充実を図った。</p> <p>また、市内保育施設に対して、市職員による巡回支援や保育従事者を対象とした研修などを実施し、保育の質の向上を図った。</p> <p>③子育て中の親の孤立化の防止や子育て不安の解消を図るため、市内13ヶ所で子育てひろば事業を実施したほか、市保育士やボランティアによる子育てひろばや市民団体の子育てひろば活動への補助を行った。義務教育終了前までの児童を対象に医療費の助成や児童手当の支給を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。</p>
A	
【令和元年度における取組など】	
<p>①平成30年4月から子育て世代包括支援センターの開設に伴い開始した、妊娠届出時の看護職による全件面接においては職員のスキルアップを図り、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援及び、必要に応じて保健師の継続相談等につなぎ早期から支援できる体制をさらに充実していく。また、産後の母の心身のサポートを充実させるため、産後ケア事業を開始する。引き続き各種サービスの実施率の向上に努める。また、健康診査では子どもの健康増進と共に子育て支援の機会になるよう実施する。予防接種は安全に実施されるよう予防接種ナビは継続実施し、市民及び協力医療機関への情報提供等に努めていく。</p> <p>②引き続き、待機児童解消に向けた認可保育所等の保育施設の整備を行うほか、私立幼稚園などの協力を得ながら一時保育・定期利用保育などの保育サービスの充実を図るとともに、保育コンシェルジュによる相談窓口業務を通じて、各子育て世帯に応じた保育サービスの提案を行う。</p> <p>③地域で子育てひろばを展開するとともに、市立保育所の地域子育て支援拠点の整備を進める。また、手当・医療費助成とともに継続して法令等に基づき実施をすることにより、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。</p>	

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>① の新生児訪問実施率は KPI を下回っているが、背景としては里帰り出産が多いことが考えられる。3～4 か月児検診の受診率が 98.8%であり、新生児訪問の未利用の家庭の確認は行っているとのことなので、新生児の状況確認に大きな問題があるとは言えず、進捗状況としては概ね良好であると判断できる。</p> <p>② 府中市は依然、待機児童数では全国的にみて多い自治体であるが、教育・保育施設が着実に整備されて数を増やしている。保育従事者への研修の実施等、保育の質の向上も継続して取り組むことが期待される。</p>
A	<p>③ 安心して出産、子育てができると感じている市民の割合は、目標値を若干上回ることができている。子育てに優しい街という意識が市民に広く定着するよう、子育て支援事業や子育て家庭への経済的支援の充実について、市民への広報をより一層行うことに努めて欲しい。</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。

**具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票**  
(対象:平成 30 年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	1	みんなが安心して暮らせる地域づくり
具体的な施策	①	防災・防犯体制の強化
主担当課	防災危機管理課、地域安全対策課	
施策概要	・全ての市民が安心して暮らし続けられるよう、地域の防災・防犯体制を強化するとともに、災害に強い都市基盤づくりを進めます。	

**1 重要業績評価指標 (KPI)**

指標名	単位	現状	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 日頃から家庭で災害に対する備えをしている市民の割合	%	80.0					
		62.2	57.4	62	55.8	66.8	—
			B	B	C	B	
② 地域安全リーダー講習会受講者数	人	450					
		311	332	354	374	387	—
			A	A	B	B	

- ※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評 価	<p>①地域の防災訓練や自治会等で実施する出前講座において、市民による自助の必要性や、各家庭で取り組むことのできる防災対策について説明した。また、防災用品販売業者との協定に基づき、防災用品あっせんに関するチラシを市民向けに配布し、備蓄品の備蓄や家具転倒防止用品の活用等について意識啓発を行った。さらに、文化センター圏域ごとの自主防災連絡会において自主防災の取り組みについて啓発している。</p>
B	<p>②防犯体制の強化について</p> <p>地域安全リーダー講習会はあらゆる機会を通じて広く呼びかけを行った他、東京都からも講師を招く等内容に変化を加えた結果、申し込み時点では女性を含め昨年を上回る受講希望者がいたものの、講習日が他の市行事と重なったこともあり実参加者は13名と昨年を下回った。しかし、参加者の層は市内企業関係者や学校見守りボランティア関係者、市内福祉施設勤務者等幅を広げ、これまでにいなかった若い層(40歳代1名)の参加も得ることができた。</p> <p>また、寸劇防犯講話については年度1回バルトホールを使用して実施し、約300名の参加者に特殊詐欺の最新情報を交えた寸劇を実施し好評を得た。</p>
【令和元年度における取組など】	
	<p>①これまでの取り組みを引き続き推進するとともに、防災訓練や出前講座に、より多くの方に参加していただき、自助について、周知をしていく。</p> <p>②これまでに締結してきた「ながら見守り連携協定」を活かすため、提携企業へ見守り希望箇所等の情報をタイムリーに提供していくとともに、リーダー講習会への社員等の参加を呼び掛けることでポイントを押さえた質の高い見守りが可能となる体制を築いていく。</p>

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>① 現状数値を初めて超え、昨年度より10%増加した。 各地で起こる自然災害を目にする機会も多く、防災に対する意識も高まってきている事が数値にも表れているのではないかと。</p> <p>市民の意識を高める為、更なる啓発活動が必要と思われる。 また、文化センター圏域ごとの自主防災活動は地域活動には大切な事だが、近隣との交流の無い世帯（単身世帯）等の取りこぼしがないようにしていただきたい。</p>
B	<p>② 参加者数は低かったが、受講参加希望者の発掘、周知等の努力をされている事は評価したい。見守りに対しての取組みは継続し、今年度の提携企業との情報提供からの講習会参加を促していただきたい。</p> <p>目標に関して現状では達成は難しい。今まで実施をしていない取組み（実施回の追加等）を増やしたりして、講習会の受講者を増やしていただきたい。</p>

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。



## 具体的な施策・重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価票 (対象:平成30年度)

基本目標	4	地域とつながる安心な暮らしの確保
基本的方向	2	地域コミュニティの活性化
具体的な施策	①	地域交流・活動の促進
主担当課	地域コミュニティ課、協働推進課、指導室	
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の社会的な孤立を防ぐとともに、子どもや学生が地域づくりに関わる機会を持てるよう、幅広い世代の交流を促進し、地域社会を支える共同体の機能を深めます。</li> <li>・相互友好協定を結んでいる東京外国語大学及び、東京農工大学及び明治大学をはじめ、市内の企業や市民活動団体等と連携することで、地域課題を市と市民が協働して解決する体制の整備を目指します。</li> </ul>	

### 1 重要業績評価指標 (KPI)

指標名	単位	現状	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		目標					
		実績	実績	実績	実績	実績	実績
		進捗	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗
① 各文化センター圏域でのコミュニティ事業参加者数	人	231,000					
		222,427	228,575	238,754	236,873	228,588	—
		/	A	A	A	A	
② 市と大学や企業等が協働実施している事業数	事業	現状値以上					
		59	56	41	43	54	—
		/	B	C	B	B	

- ※進捗 A：目標達成に向け、順調に進捗している。  
 B：やや遅れているが、概ね順調に進捗している。  
 C：遅れが生じている。このままでは目標の達成が難しい。

## 2 進捗状況評価（担当課）

【平成30年度の取組内容と評価】	
担当課 評 価	<p>① 地域の特色を活かした各種行事を地域の人々が参加しやすい工夫を凝らしながら市民との協働で提供し実施することができた。圏域ごとの課題への対応については、他センターの成功事例を参考にし、改善を試みている。</p> <p>事業参加者数の減少は、台風接近により押立文化センターの地域まつりが中止となったことによる。</p>
B	<p>② 市内の大学や過去からの協働実施している大学との連携については、継続実施により定着をしており、良き協働のパートナーとして機能している。</p> <p>③ コミュニティ・スクール事業では、学校と地域とが連携して、各校で地域防災の推進や学習支援の実施、ゲストティーチャーの紹介、サマースクールの開催などの活動が主体的に実施されている。</p>
【令和元年度における取組など】	
<p>① 地域の特色を活かした事業の展開にし、圏域住民のニーズを勘案した事業の実施に取り組んでいく。事業無参加層の働きかけを試み参加者数の増加に努めていきたい。</p> <p>② 大学に比べ、企業との連携については難しい状況があるが、事業内容の更なる充実のため、新規開拓を含め引き続き実施していきたい。</p> <p>③ コミュニティ・スクール事業については、引き続き、地域の教育力を生かして推進していきたい。また、各校の取組の情報共有を図っていく。</p>	

※評価 A：取組が順調に進展しており、進捗状況は良好である。

B：取組が進展しており、進捗状況は概ね良好である。

C：取組が遅れており、進捗状況は不十分である。

### 3 進捗状況評価（協議会）

【担当課評価などに対する意見】	
協議会 評 価	<p>①については、市民との協働により地域の特色を活かした各種行事を開催している点は高く評価できる。しかし、事業参加者数の経年的推移をみると、減少要因（台風の影響により押立文化センターの地域祭りが中止）が特定されているとはいえ、目標値（231,000人）を超えていたH28年度（238,754人）と比較すると、H30年度は約1万人の減少となっている。こうした状況は、別の事業参加者数の頭打ちなども減少要因として考えられる。文化センター圏域ごとの課題抽出とその改善を試みているとのことであるが、事業参加者数減少の歯止めになっているかの検証が必要である。</p> <p>②については、昨年度から11事業が増加して54事業となったことで、目標値である「59以上」に近づいている点は高く評価できる。しかし、企業との連携は相対的に少ない傾向が続いており、連携増加に努めて欲しい。また、多様な主体（企業、各種団体、大学）との横断的連携を積極的に図り各主体の強みを活かすことで、新規性・独自性のある事業創出を引き続き期待する。</p>
B	

- ※評価 A：目標の達成に向けて、着実に進んでいる。  
 B：目標の達成に向けて、概ね進んでいる。  
 C：目標の達成に向けて、改善や工夫が必要である。